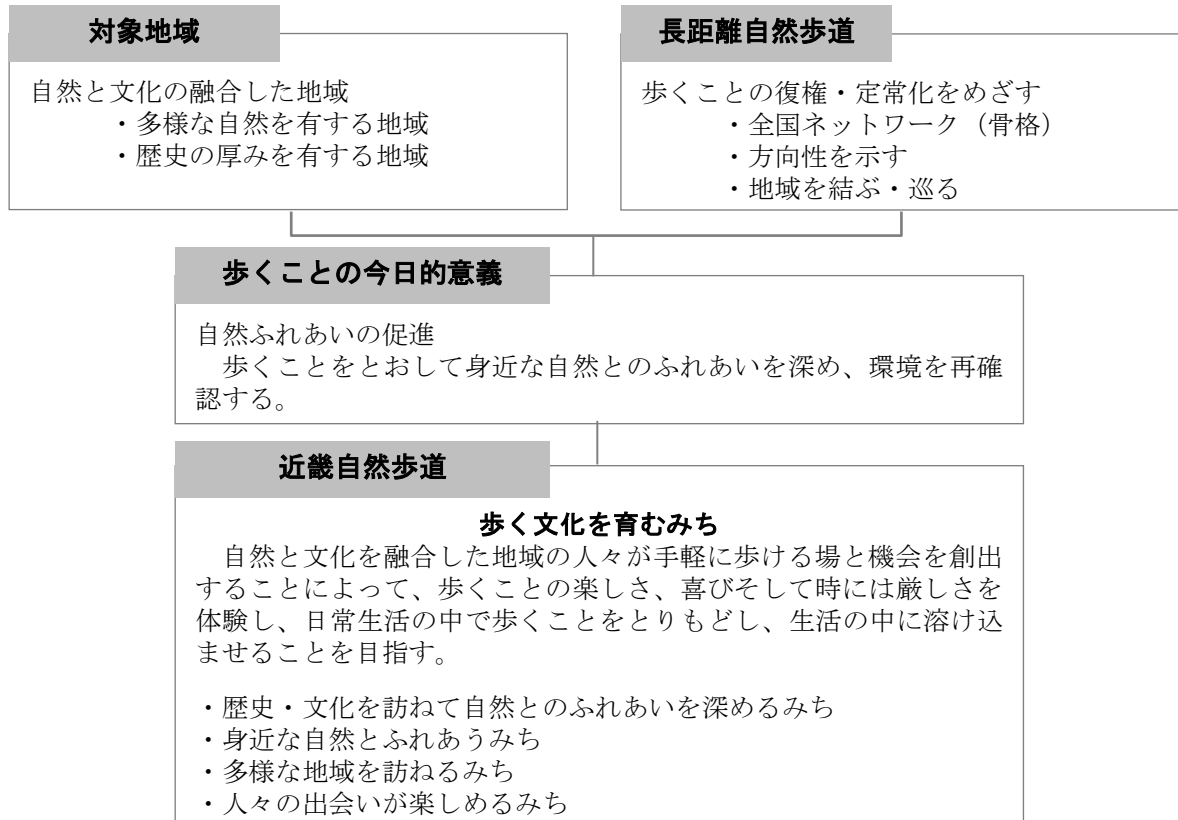


### 3 基本方針の策定及び総合検討

#### 3.1 伊勢志摩国立公園の近畿自然歩道のあり方

##### 近畿自然歩道の基本的な考え方



##### コースの特徴

瀬戸内海から日本海の景観などの多様な自然資源、熊野古道などの旧街道に代表される地域の歴史的・文化的資源等を結ぶ歩道のネットワークを構築している

##### 伊勢志摩国立公園近畿自然歩道コンセプト

「伊勢志摩を歩く240km ～Border to Border～」

伊勢志摩国立公園の端から端まで連続して歩くことができる歩道、点的な理解を超えて総合的に感じ理解することができる歩道、国立公園の基幹的施設としてエコツーリズムなどの新しい利用に対応した歩道を整備する。

### 3.2 整備目標

- ①ビジターや地域の人々、老若男女、さまざまな人たちが、歩く人たちの気持ちをもり立て、歩くことの楽しさ、喜び、時には厳しさを体験できる。
- ②伊勢神宮・金剛證寺・青峯山参拝などの文化、社叢林や南伊勢地域の自然林、リアス式海岸や島嶼部の自然や漁業文化など伊勢志摩国立公園の特徴ある自然や歴史・文化とふれあう。

### 3.3 基本方針

#### 〔利用方針〕

- ・自然が豊かな地域において、動植物や景観資源の保全を図りながら、自然とのふれあいを推進する。
- ・エコツアー等の新たな利用形態と連携を図り、自然とのふれあいの場の確保や機会の提供を行う。
- ・日々の散歩や緊急時の避難経路など、地域の利活用に資する歩道を目指す。
- ・キャンプ場、宿泊施設など関連施設と連携を図った利用を検討する。

#### 〔保全・整備方針〕

- ・伊勢志摩国立公園のゲートとなる伊勢神宮から南西端の古和浦まで連続して歩くことのできる歩道を整備する。
- ・自然や歴史・文化とのふれあいに資する適切なルートを検討・修正しながら、整備を行う。
- ・利用者の安全性を確保し、利用上支障がある施設については再整備を行う。
- ・整備に当たっては、災害時の避難等に利用できるように配慮する。

#### 〔維持管理方針〕

- ・施設の管理責任は事業執行者が負うものであるが、きめ細やかな管理を行うため、地元（県・市・町・関係機関等）と協力し、維持管理体制の構築に努める。

#### 〔情報発信方針〕

- ・近畿自然歩道の魅力が伝わるように、関係機関及び関連施設と連携し、ビジターセンター、広報やホームページ、パンフレット等の様々な手段を通じて、効果的な情報発信に努める。

### 3.4 課題の整理

表 3.4-1 課題の整理

伊勢志摩国立公園近畿自然歩道 コンセプト	「伊勢志摩を歩く240km ~Border to Border~」 伊勢志摩国立公園の端から端まで連続して歩くことができる歩道、点的な理解を超えて総合的に感じ理解することができる歩道、国立公園の基幹的施設としてエコツアーリズムなどの新しい利用に対応した歩道を整備する。			
整備目標	①ピジターや地域の人々、老若男女、さまざまな人たちが、歩く人たちの気持ちをもり立て、歩くことの楽しさ、喜び、時には厳しさを体験できる。 ②伊勢神宮・金剛殿寺・青峯山参拝などの文化、社叢林や南伊勢地域の自然林、リアス式海岸や島嶼部の自然や漁業文化など伊勢志摩国立公園の特徴ある自然や歴史・文化とふれあう。			
現状	〔利用〕	〔保全・整備〕	〔維持管理〕	〔情報発信〕
共通事項・現況総括	・伊勢市、鳥羽市、志摩市地域には海岸線を中心に歴史資源や眺望資源が点在する。 ・特に、宮城林や南伊勢町のリアス式海岸地形、海跡湖や海岸植生、ウミガメの産卵地の自然性が高い。 ・利用は、スポット的な観光、登山・信仰による利用、イベント・エコツアー、地域の散歩などがある。	・近畿自然歩道は、1日単位のコースが設定され、コース間はバスルート等により接続している。	・自治体による点検や地域の人による自主的な維持管理が行われている。	・近畿自然歩道は、環境省及び三重県のホームページで確認できる。 ・ウォーキング60、各自治体が発行するウォーキングマップなどで同様なルートが設定されている。
9.お伊勢さんを感じるみち	+歴史文化資源（神宮神田）等をつないでいる。 -利用は内宮、外宮に集中している。	+スタート及びゴールが車でアクセスが容易。 -コースが蛇行、朝熊岳へは内宮からが近い。	-	-利用者は近畿自然歩道を意識していない。
10. 御塩づくりにふれるみち	+歴史文化資源（夫婦岩等）をつないでいる。 -利用は二見浦に集中している。	+スタート及びゴールが車でアクセスが容易。 -類似の方向標識や分岐に標識がないため迷いやすい。 -松下駅から先は歩道がとぎれる。	-	-ルートがわかりにくい、地図と異なるルートがある。 -利用者は近畿自然歩道を意識していない。
11-A.菅島灯台としろんごの浜を訪ねるみち	+島特有の自然歴史資源（しろんご浜等）をつないでいる。 +浜でエコツアーが行われている。	・定期船でアクセスする。 -自然性の高い海岸一部、山頂部はコースとなっていない。	-使われていないルートは雑草が生い茂っている。 -公衆便所等必要だが維持管理を考慮して設置すべき。	-正確なルート地図や案内がない。
11-B.「潮騒」の舞台・「鷹と蝶」の渡る神島を訪ねるみち	+島特有の自然や文化資源（小説の舞台）をつないでいる。 +渡りの時期になるとアサギマダラやサシバ等が見られる。	・定期船でアクセスする。 -集落をすぎるとトイレがない。	-	-
一. 答志島	+海、山、集落があり、島特有の自然や歴史文化に触れられる。 ・地域の人々の散歩利用／エコツアーの実施。	・定期船でアクセスする。 -集落間の歩道未整備。（事業未執行・漁港整備事業との調整）	-管理が行き届かない。（予算不足、高齢化）	-
12.朝熊岳金剛殿寺へのみち	+伊勢神宮の奥の院。朝熊駅～金剛殿寺の眺望良好。 +登山利用が多い。	+ルートが連続している。 +スタート及びゴールが車でアクセスが容易。 -駐車場、標識、休憩所等不足傾向。	-	-標識がわかりにくい。
一.（朝熊山登山線）	+伊勢神宮の奥の院。朝熊駅～朝熊山園地は自然性が高い。 -始点の内宮参拝者が多いのに対して、歩道利用者は少ない。	-朝熊駅側登山口～朝熊山園地は未整備。 -内宮～朝熊山は方向標識が不足し、洗掘がある。	-	-体系的な方向サインが整備されていない。
13. 舟神様“青峯山”をたずねるみち	+古道を活用したルート。自然性が高く眺望地点がある。 ・登山利用、信仰利用が多い。	+スタート及びゴールが車でアクセスが容易。 -正福寺（山頂付近）～上之郷駅まで車で単調。 -「英虞湾一望の横山をたずねるみち」までの連絡道が長い。	-	-
14. 英虞湾一望の横山をたずねるみち	+横山から英虞湾の眺望、迫り集落の景観が良好。 +展望台の利用が多い。	+施設整備が行き届いている。 -周辺の長距離自然歩道と繋がっていない。	+施設は良好に維持管理されている。	-ピジターセンターにおける長距離自然歩道の情報が少ない。
15. 安乗灯台と文楽のみち	+安乗東大や国府白浜等眺望地をつなぐルートである。 -安乗の眺望、白浜の海水浴・サーフィン利用が多い反面、歩道として歩く人は少ない。	-車道のルートが長く単調、歩道帯がない場所が多く危険。 -安乗は、周辺の長距離自然歩道と連続していない。 -破損した標識がある。	-	-集落内はルートがわかりにくく、地図と異なるルートがある。
16. 大王埼灯台をたずねるみち	+眺望地点、漁村等を結んでいる。 +エコツアーで利用されている。 -大王崎に利用が集中している。	+ルートが連続している。 -破損した標識がある。 -崩壊地等危険な箇所がある。	-	-迷いやすい。
17. 麦崎・磯笛のみち	+自然性の高い海岸（ウミガメ産卵等）、漁村を通るルート。 -大池の水辺に近づけない。	+ルートが連続している。 -舗装道路ルートが長く単調。	-	-迷いやすい。
18. 御座・金比羅山から富士山をのぞむみち	+景観の良い海岸や山を結ぶルートである。 +エコツアーやキャンプ等で利用されている。	+トイレ等多く点在し利用性良好。 -舗装道路ルートが長く単調。 -海を挟んだ対岸（船便減少）がゴールとなっている。	・眺望のための伐採必要 -トイレや木製品の維持管理ができない。	-集落では迷いやすい。（標識の乱立、情報の不備等ある）
19. 磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち	+砂浜、磯場、岬など自然景観を楽しめる。 +南海展望台の利用多い	-車道との兼用区間があり危険。 -海を挟んだ対岸（バスルート）がゴールとなっている。	-長期の通行止め箇所は問題	-
一.（浅間山登山線）	+森林の景観や海への眺望など自然性が高い。	+近畿自然歩道と連続する。 +集落と高台を結んでいるので避難経路に利用できる。 -急な勾配の階段がある。	-	-
一.（相賀浦阿曾浦線）	+森林、海岸植生、海跡湖、ウミガメが産卵する砂浜など自然性が高い。 +エコツアー利用がある。	+近畿自然歩道と連続する +集落と高台を結んでいるので避難経路に利用できる。 +一部険しい山道がある。	-	-
20. 南伊勢町（旧・南島町）・親子大橋をめぐるみち	+展望台からの海の眺望（リアス式の内湾）良好。	-周辺の長距離自然歩道と連続していない。（公園外） -破損している施設がある。	-	-情報不足（標識等不足）
21. 鶴倉半島展望のみち	+展望台からの海の眺望良好。	-周辺の長距離自然歩道と連続していない。（公園外）	-不法投棄が多い。	-情報不足（標識等不足）
22. 竈方集落をめぐるみち	+展望台からの海の眺望良好。集落の景観。	-周辺の長距離自然歩道と連続していない。（公園外）	-不法投棄が多い。	-情報不足（標識等不足）

整備目標達成のための課題	〔利用〕	〔保全・整備〕	〔維持管理〕	〔情報発信〕
	・スポット的に利用者が集中する反面、歩道としての利用が少なく、利用されていない資源が多い。 ・保護や保全への配慮が必要な資源がある。 ・地域の人々の利用に対応できていない面がある。 ・地域の施設の利活用が図られていない面がある。	・伊勢から古和浦まで歩道が連続していない。 ・単調な車道等自然や歴史文化とふれあにくい区間がある。 ・歩道帯のない交通量のある車道、崩壊箇所、津波のおそれのある海岸線など危険が想定される箇所がある。 ・迷いやすい場所がある。	・草刈り等の維持管理が十分に行われていない。 ・限られた予算の中で、十分な維持管理ができない。 ・壊れた施設等の修繕が行われていない。 ・不法投棄／漂着ゴミがある。 ・展望台等において眺望のための伐採が必要となっている。	・他のルートにはない近畿自然歩道の魅力（長距離に渡り地域の自然や歴史文化にふれあえる）が十分伝えられていない ・地図情報と現地のルートに食い違いがある。

※（ ）内は近畿自然歩道以外 / ※+は方針に対するプラス要因、・は方針に関わる事項 -は方針に対するマイナス要因 / 網掛けは近畿自然歩道に関連する歩道事業

### 3.5 全体計画の検討

伊勢志摩国立公園近畿自然歩道の整備基本計画を立案するために、伊勢志摩国立公園近畿自然歩道の全体計画を検討する。

#### 3.5.1 検討の手順

##### ①利用施設・自然資源の確認

- ・「自然や文化とのふれあい」に資するために、自然資源、文化資源を体験し、利用施設を活用できるように自然資源や利用施設の状況を確認する。

自然資源：保全対象（伊勢志摩国立公園管理計画）、主な展望地（伊勢志摩国立公園管理計画）、  
史跡・名勝・天然記念物、特定植物群落・希少野生動植物主要生息生育地

利用施設：海水浴場、野営場、展望台、博物展示施設（VC）、その他の自然ふれあい施設・自然ふれあいの場



##### ②全体計画の検討

- ・「基本的な考え方」、「目標」、「基本方針」を踏まえ、ルートを検討する。  
（ルートの連続性を確保できない区間、新たな区間については、公園計画の変更などの処置により、近畿自然歩道に取り込む。）
- ・「自然や文化とのふれあい」に資するように、近畿自然歩道の**利用、保全・整備、情報発信、維持管理**を検討する。

### 3.5.2 全体計画の検討

#### ■利用施設・自然資源の現状

- ・キャンプ場、展望台、海水浴場などの利用施設は、海岸部に多い傾向がある。(現近畿自然歩道と重なる部分も多い)
- ・自然資源は、地域全体に分布する。その中で、五十鈴川や横輪川の源流部、南伊勢町の山域部などは利用施設が少なく、自然性が保たれている。(近畿自然歩道は通っていない)

現状のルートを生かしつつ、自然性の高い五十鈴川や横輪川の源流部、南伊勢町の山域部などにルートを検討する。

#### ■全体計画

「近畿自然歩道の基本的な考え方」、「伊勢志摩国立公園近畿自然歩道コンセプト」に基づき、利用施設および自然資源の現状を踏まえ、全体計画を立案する。

##### **ルート1** 伊勢神宮内宮～古和浦

「伊勢神宮内宮」から「古和浦」まで、既存の近畿自然歩道を繋げ、シンプルかつ距離があり、歩いて利用できるルート（既往施設の利活用など）

##### **ルート2** 伊勢神宮内宮～五ヶ所湾

伊勢志摩国立公園のなかで、特に自然資源の豊富な伊勢神宮内宮から宮域林を通り南伊勢町に抜けるルート

#### ■今後検討しなければならない事項

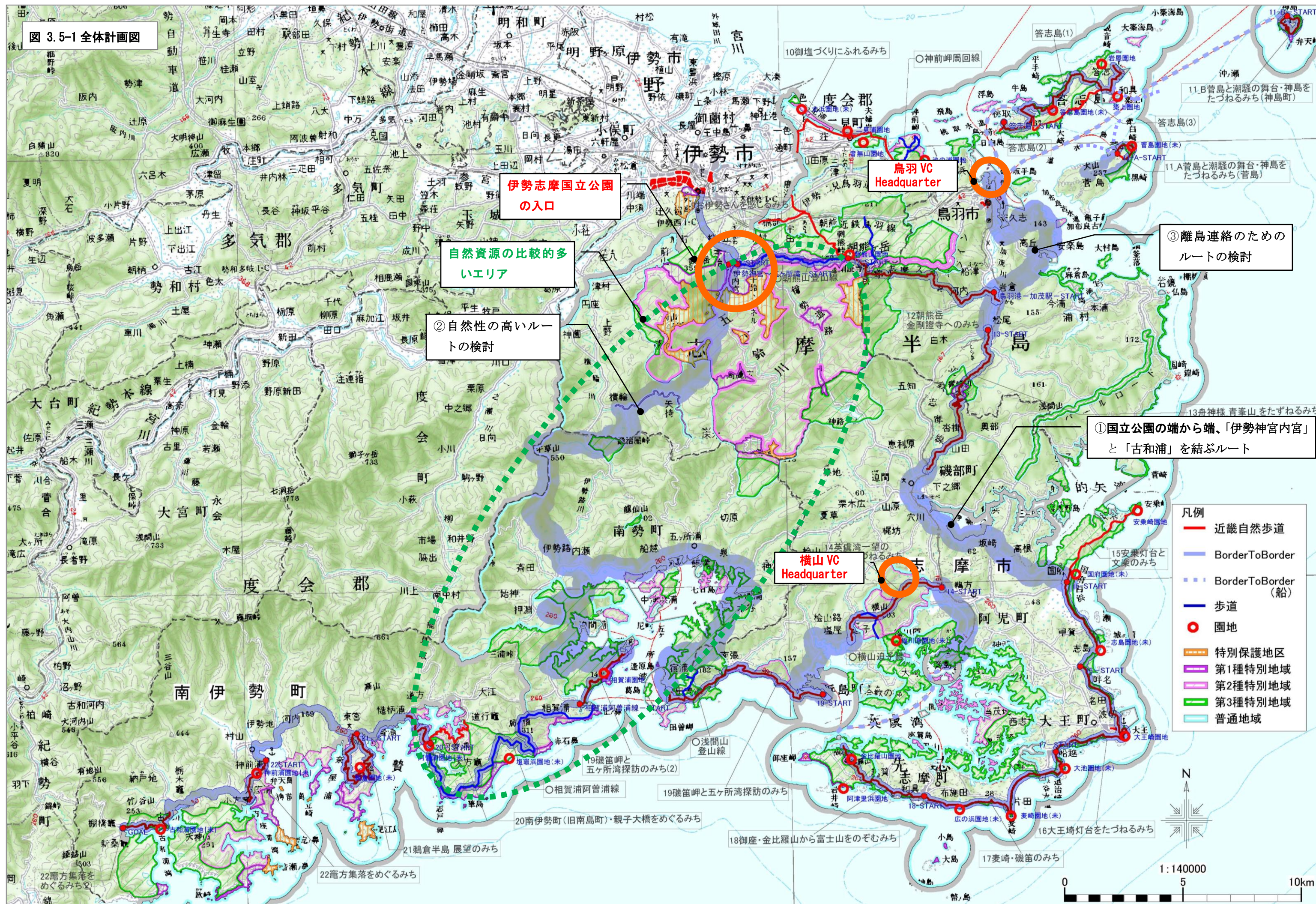
全体計画で対象とならなかった「10. 御塩づくりにふれるみち」や歴史・文化的に魅力のある海岸線に点在するルート、ポイント（安楽島～的矢）について、脇道、寄り道として、活用を検討していく。

表 3.5-1 全体計画

	ルート	現状			各ルート毎の方針				
		タイプ	難易度	距離	資源	利用	保全・整備	情報発信	維持管理
	10. 御塩づくりにふれるみち	海	●●	10.2	五十鈴川、御塩浜、御塩殿神社、松下社	・現状維持 ・歴史・文化とのふれあい	(公園外のルートについて三重県と調整が必要)		
R1	9. お伊勢さんを感じるみち	里	●	2.1	神宮神田、雑木林と水田、浅間山眺望	・現状維持 ・歴史・文化とのふれあい	START (公園外のルートについて三重県と調整が必要)		
	○. (朝熊山登山線)	—	—	—	滝、丁石・お地藏様、内宮	・伊勢志摩国立公園近畿自然歩道のSTART (伊勢神宮内宮側の登山口)	・登山口～朝熊峠の歩道の整備	・START地点でのルート全体の情報提供	
	12. 朝熊岳金剛證寺へのみち	山	●●	12.8	尾根からの眺望、金剛證寺、丸山庫蔵寺、彦瀧神社、田園風景	・歴史の道の体験 ・社叢林等貴重な自然とのふれあい	・歩道の再整備 ・12-13間の追加ルートの整備		
	—. 鳥羽港～加茂駅	—	—	—	安楽島海水浴場	・12と鳥嶋部を連絡するルート ・半島・海岸の自然とふれあい	・連絡ルートの整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道の情報発信	
	○. 答志島	島	●●	—	島ヶ崎灯台、桃取・和具・答志の漁村景観	・島の自然とのふれあい(海の生物、植生、眺望等) ・エコツアー利用	・未執行部分(桃取～和具)の整備(要漁港事業との調整)	・鳥羽VCでの近畿自然歩道鳥嶋部の情報発信 ・ルートに名称を付ける	
	11-B. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち②「潮騒」の舞台・「鷹と蝶」の渡る神島を訪ねる道	島	●●	2.5	神島灯台、監的哨(眺望)、カルスト地形	・島の自然・文化とのふれあい	・施設の再整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道鳥嶋部の情報発信	
	11-A. 菅島と「潮騒」の舞台をたずねるみち①菅島灯台としろんごの浜を訪ねるみち	島	●●	2.9	しろんご浜、菅島灯台、監的哨(眺望)、大山(眺望)、ベニツグ	・島の自然とのふれあい(植物の観察、山頂から海への眺望など) ・エコツアー利用の促進	・大山山頂を巡るルートの整備	・鳥羽VCでの近畿自然歩道鳥嶋部の情報発信	・地域と協働した歩道の維持管理(草刈り等)
	13. 舟神様「青峯山」をたずねるみち	山	●●	10.2	松尾の街並み、しょうぶ園、尾根からの眺望、正福寺	・歴史の道の体験	・自然性の高い沓掛道(山道)の整備。		
	—. 上之郷駅～国府白浜	—	—	—	伊雑宮、伊雑浦、隣江寺のイチョウ、玉泉庵のナギ	・13と15を連絡するルート ・里海景観(伊雑ノ浦)の体験	・連絡ルートの整備		
	15. 安乗灯台と文楽のみち	海	●	11.2	安乗灯台、白浜、阿児の松原	・海(自然(国府白浜、阿児松原)とのふれあい)	・自然性の高い国府白浜(砂浜)の整備		
	16. 大王崎灯台をたずねるみち	海	●●	11.1	大野浜、大王崎灯台、米子浜	・海(自然(磯、砂浜等)と文化(漁港等)とのふれあい)	・老朽化施設等の再整備 ・道がない箇所の付替え		
	17. 麦崎・磯笛のみち	海	●	8.4	船越大池、深谷水道、大野浜、麦崎灯台、広の浜(アカウミガメ産卵)	・海(自然(磯、砂浜等)と文化(海女小屋等)とのふれあい)	・施設の再整備 ・通行止め箇所の付替え		
	18. 御座・金比羅山から富士山をのぞくみち	海/山	●●	13.7	和具大島、阿津里浜、金比羅山展望台、爪切不動尊、御座岬灯台、潮仏	・海(自然(磯、砂浜等)と文化(漁港等)とのふれあい)	・標識等施設の再整備	・観光案内所等での情報提供	・地域と協働した歩道の維持管理(展望の為の伐採等)
	14. 英虞湾一望の横山をたずねるみち	山	●●	5.9	横山VC、英虞湾の眺望 迫子集落の景観	・英虞湾の眺望利用	・追加ルート等への標識整備 ・道路管理者との連携(歩道帯整備)	・伊勢志摩国立公園近畿自然歩道のヘッドクォーターとして、横山VCでの近畿自然歩道の情報発信	
	19. 磯笛岬と五ヶ所湾探訪のみち	海	●●	13.0	矢取島、磯笛岬展望台(ツバスの鐘)、五ヶ所湾、相賀浦、南海展望公園	・海(自然(リアス式の内湾)と文化(漁港等)とのふれあい)	・標識等の再整備 ・通行止め箇所の付替え		
	—.					・海(自然(リアス式の内湾)とのふれあい、眺望利用)	・現バスルートを歩道として整備	・五ヶ所湾体験ワールド等での情報提供 ・ルートに名称を付ける	
	○. 相賀浦阿曾浦線	—	—	—	リアス式の海岸、塩竈浜、塩竈浜の海跡湖、塩竈浜に上陸するウミガメ	・19と20を連絡するルート。 ・リアス式海岸の自然とふれあい。	・休憩施設、標識等整備	・海ぼうず等での情報提供	・漂着ゴミの撤去(塩竈浜)
	20. 南伊勢町(旧・南島町)・親子大橋をめぐるみち	海	●●	8.6	リアス式の静かな内湾	・リアス式の静かな内湾等の景観利用	・標識等の再整備		・公園外ルート三重県と連携・調整
	21. 鶴倉半島展望のみち	山	●●	9.1	あけぼの展望台、見江島、かさらぎ池、かさらぎ展望台	・リアス式海岸の眺望景観利用	・標識等の再整備		・公園外ルート三重県と連携・調整 ・地域と協働した歩道の維持管理(不法投棄等)
22. 竈方集落をめぐるみち	海	●●	12.3	薬師山城跡、与崎の鼻、古和一族の軍忠碑、ニラハマ展望台、竈方伝説塩焼竈跡	・棚橋竈 →伊勢志摩国立公園近畿自然歩道のGOAL	・再整備	・GOAL地点でのルート全体の情報提供	・公園外ルート三重県と連携・調整 ・地域と協働した歩道の維持管理(不法投棄等)	
R2	○. 伊勢神宮(内宮)～五ヶ所湾	山	—	—	伊勢神宮宮域林、五十鈴川、横輪川、牛草山等	・自然とふれあうルート。(伊勢志摩国立公園の中で特に自然性が高く資源の多い地域)	・伊勢神宮(内宮)から五ヶ所湾ルートを近畿自然歩道に位置づけ	・START地点でのルート全体の情報提供	・宮域林への配慮 ・地域と協働した歩道の維持管理(不法投棄等)



図 3.5-1 全体計画図



伊勢志摩国立公園  
の入口

自然資源の比較的多  
いエリア

②自然性の高いルー  
トの検討

鳥羽 VC  
Headquarter

横山 VC  
Headquarter

③離島連絡のための  
ルートの検討

①国立公園の端から端、「伊勢神宮内宮」  
と「古和浦」を結ぶルート

- 凡例
- 近畿自然歩道
  - BorderToBorder
  - - - BorderToBorder (船)
  - 歩道
  - 園地
  - 特別保護地区
  - 第1種特別地域
  - 第2種特別地域
  - 第3種特別地域
  - 普通地域

